秋田魁新報　2026年01月14日付　県南

プログラミング楽しく

六郷高生が児童向け教室

六郷高生（右）の指導を受けプログラミングに取り組む親子

六郷高校生による小学生プログラミング教室が9日、美郷町の同校で開かれた。1、2年生有志13人が講師を務め、県南部の親子連れ4組がプログラミングを体験した。

プログラミング教材として使われる小型コンピューター「マイクロビット」を使用。動作を指示するプログラムを作り、マイクロビットのランプを点灯させたり、音を鳴らしたりして楽しんだ。思い通りのメロディーが流れると、参加者と高校生が笑顔を見せていた。

横手南小学校1年の五十嵐心都さんは「お花の形に光らせることができてうれしい」と喜んだ。講師役の六郷高1年の佐々木奏詠さんは「10歳下の弟がいるが、初めて会う小学生とコミュニケーションを取るのは勝手が違い、難しかった。それでも何とか教えることができて、良い経験になった」と語った。

教室は、授業でプログラミングを学んだ成果を生かそうと、2022年1月から年1、2回開催しており7回目。10日も開催した。

（佐藤拓）

ⓒ秋田魁新報社